

白井第三小学校区まちづくり協議会設立準備会  
第2回まちづくり計画検討委員会（防災）要点録

1 日 時：令和3年7月11日（日）午後5時～6時20分

2 場 所：富士センター 視聴覚室

3 出席者

○準備会委員

氏名	出欠	備考
橋本 力	○	リーダー、防犯・交通安全WG
森岡 義人	○	地域交流WG
斎藤 一夫	○	子育て・福祉WG
龍野 紀子	○	担い手WG
吉澤 武雄	○	令和3年度富士西自治会長

○支援チーム・事務局

所属等	氏名	出欠	備考
支援チーム	元田 和寿	○	
〃	今井 利恵	○	
市民活動支援課	松岡 正純	一	8分野に出席
〃	保科 恒子	○	
〃	袖山 翔輝	一	8分野に出席

4 議題

（1）資料の説明

- 事前送付及び当日配布の資料について説明を行った

（2）まちづくり計画案の作成について

- 第1回まちづくり計画検討委員会（防災）で決定した内容を整理した資料1を基に、各取組事業の予算について資料2を参考に検討を行い、まちづくり計画（案）を完成させた

**【出された考え方・意見・決定事項】**

**◆防災リーダーについて**

- ◆ 防災リーダーに自主防災組織などを活用してはどうか、リーダーになって避難所開設などの中心を担うのであれば研修も必要と思う
- ◆ 研修会は複数で参加した方が、お互い刺激にもなり意義がより出ると思う

**防災士講習会に毎年2名を参加させる想定で、2. 5万円×2名を予算とする**

## ◆防災組織について

- ❖ 新型コロナウイルス感染症の影響で立ち上げまで至っていない防災連合が中心になる

**参加者の募集等チラシ代と会議（お茶代）を予算とする**

## ◆防災訓練について

- ❖ 資料2に平成30年度と31年度の自治連支部事業として行った防災訓練の⇒金額が出ているが、予算の半分以上が記念品、ブルーシートなど事業で使う備品類は各自治会持ちだった
- ❖ どのような防災訓練にするか？  
⇒自治連支部で行っているように消防へ依頼すると、メニューが決まってしまう
- ❖ 記念品（防災に関連したもの）は必要か？  
⇒記念品はあった方が良い

**内容はこれまでとは異なり避難所開設訓練等の実施を想定し、自治連支部事業の実績並みの予算とする**

## ◆防災マップについて

- ❖ 市のハザードマップが配布されたが、もっと細かいものがあると良いとの話を自治会で言われた
- ❖ 防災だけではなく他分野の情報も併せたマップを作成するという話もあった
- ❖ 大きなポスタータイプが良いのか、冊子タイプのものが良いのか  
⇒第三小学校区のエリアや形状を考えると、地図タイプでは無駄な部分が多くなる（鎌ヶ谷市、船橋市などの隣接区域が占める割合が多くなる）
- ❖ 資料2で印刷代を例示しているが、これは印刷するデータをすべて自分たちで作成した場合で、データを作成すると金額はもっと高くなる  
⇒どこまで自分達でデータを作ることができるか、が大きな課題となる
- ❖ どのような情報を掲載するのか意見を聞くことも必要ではないか  
⇒アンケート実施を取組内容に追加する

**ポスタータイプ、冊子タイプいずれにも対応できる予算とし、取組内容に「防災マップ掲載内容についてのアンケート」を追加する**

## ◆その他

### （1）「減災と復興」について

- ❖ 防災マップの作成を通じて、災害が発生する前に、自分たちができる検討することで減災や元に戻るという復興という視点を含んでいる

- ◆ 自然災害は仕方ないとしても、災害に遭わないようにするのにはどうすれば良いか、「防災」は広くて漠然としている
- ◆ まち協は全てをやるものでなく、自分たちでできることをうまく連携していったりするものだと思う、様々な情報提供をするのがまち協の役割でいいと思う
- ◆ 啓発用DVDを作成するなどできるのでは
- ◆ 災害前から地域を知ることで被害を減らすという考え

## (2) ベストについて

- ◆ 避難所設営時など、役割の分かるようなベストがあるといいのではないか  
⇒資料2に記載されているものはベストというより反射材テープのたすきのようなもので、ビニールポケットに役割を印刷した紙を入れられるようなベストだと2～3千円する、防犯パトロールなど他分野でも活用できると思うのでまち協設立後に調整を行ってはどうか